

抗ウイルス剤配合 ドライソープ

# オリンピアV

抗ウイルス加工

抗菌防臭加工

## 特長

- 抗ウイルス加工により、洗浄後の衣類に付着したウイルスの数を減少させます。
- 抗菌防臭加工により、衣類上の菌の増殖を抑制し、においの発生を防ぎます。
- 全石油系溶剤に対応しています。
- 優れた風合い効果により、ソフトな仕上がりが得られます。

## 使用方法

- 初めに全溶剂量に対して、オリンピアVを0.5%添加します。  
(例) 溶剤100Lに対しオリンピアVを500ml 添加
- 新液補充時も、オリンピアVを0.5%添加します。
- ソープの補充は被洗物10kgあたりオリンピアVを毎回30ml 添加します。
- カートリッジを交換する場合はエレメント1本あたりに対し、オリンピアVを1500ml 使用してください。(ミニエレメントの場合800ml)

## 性状

外 観：微黄色透明液体  
成 分：界面活性剤（ノニオン、カチオン）、有機溶剤  
比 重：0.93

- 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- ウイルスの働きを抑制するものではありません。
- すべてのウイルスに効果があるわけではありません。

荷姿 18L 缶



株式会社

セブンリバーズ

本 社 / 〒731-3169 広島市安佐南区伴西3丁目5-1  
TEL(082)848-9111 FAX(082)848-2218

東京支店 / 〒340-0003 埼玉県草加市稲荷6丁目17-8  
TEL(048)931-6468 FAX(048)935-1830

HPアドレス <http://www.sevenrivers.co.jp>

# 抗ウイルス・抗菌性試験証明書

## ○抗ウイルス性試験結果証明書 一般財団法人 日本繊維品質技術センター調べ

【様式1110F36】 2020R000824\_211(3)

**試験結果報告書**

依頼者名 株式会社セゾンカー 様  
品名 オリビアV 1点  
試験項目 抗ウイルス性試験  
2020年11月4日 発注の試験に対する試験結果は、次の通りです。  
2020年11月19日  
一般財団法人 日本繊維品質技術センター  
調べる試験センター 印

調べる

○試験内容  
繊維製品の抗ウイルス性を調べる

○試験方法  
JIS S 1302 「繊維製品の抗ウイルス試験方法」

○試験結果  
・試験ウイルス：A型インフルエンザウイルス(H3N2)  
A/Hong Kong/808/TC adapted ATCC VR-1679  
・試験ウイルス懸濁液濃度：2.7×10<sup>7</sup> PFU/ml

試料	ウイルス感受率 (CFU/ml) × 乗数	減少率 [MG] (%)	抗ウイルス 濃度 [MG] (%)
無加工品 (0)	6.03	0.0	0.0
オリビアV	0.14	0.6	2.7

(注) 無加工品(対照) - 検体A (対) (0.999) : plaque forming units  
(注) 抗ウイルス活性値 [AG] = lg(15) - lg(15)  
(注) 減少率 [MG] = lg(15) - lg(15) (試験成立条件: 減少率 [MG] ≤ 1.0)

○抗菌試験結果  
・試験ウイルス：A型インフルエンザウイルス(H3N2)  
A/Hong Kong/808/TC adapted ATCC VR-1679  
・試験ウイルス懸濁液濃度：4.3×10<sup>7</sup> PFU/ml

検体	1) -1 細菌増殖 の有無	2) -2 ウイルスへの細菌の感受性確認 ウイルス感受率 (PFU/ml) × 乗数対数平均値	試験成立 の 判定
無加工品 (0)	無	2.54	○
オリビアV	無	0.57	○

【試験成立条件】  
1-1) 細菌増殖：無し  
2-2) ウイルスへの細菌の感受性確認：  
1) 検出されたウイルス感受率 (PFU/ml) - lg(10) 以下のウイルス感受率 (PFU/ml) ≤ 0.5  
以上

※ この報告書は、発注の試験に対する試験結果であり、ロット全体の品質を確認するものではありません。  
※ 本報告書の発注は一回の試験結果を前提とさせていただきます。

【様式1110F36】 2020R000824\_211(3)

**試験結果報告書**

依頼者名 株式会社セゾンカー 様  
品名 オリビアV 1点  
試験項目 抗ウイルス性試験  
2020年11月4日 発注の試験に対する試験結果は、次の通りです。  
2020年11月19日  
一般財団法人 日本繊維品質技術センター  
調べる試験センター 印

調べる

○試験内容  
繊維製品の抗ウイルス性を調べる

○試験方法  
JIS S 1302 「繊維製品の抗ウイルス試験方法」

○試験結果  
・試験ウイルス：A型インフルエンザウイルス(H3N2)  
A/Hong Kong/808/TC adapted ATCC VR-1679  
・試験ウイルス懸濁液濃度：2.7×10<sup>7</sup> PFU/ml

試料	ウイルス感受率 (CFU/ml) × 乗数	減少率 [MG] (%)	抗ウイルス 濃度 [MG] (%)
無加工品 (0)	6.03	0.0	0.0
オリビアV	0.14	0.6	2.7

(注) 無加工品(対照) - 検体A (対) (0.999) : plaque forming units  
(注) 抗ウイルス活性値 [AG] = lg(15) - lg(15)  
(注) 減少率 [MG] = lg(15) - lg(15) (試験成立条件: 減少率 [MG] ≤ 1.0)

○抗菌試験結果  
・試験ウイルス：A型インフルエンザウイルス(H3N2)  
A/Hong Kong/808/TC adapted ATCC VR-1679  
・試験ウイルス懸濁液濃度：4.3×10<sup>7</sup> PFU/ml

検体	1) -1 細菌増殖 の有無	2) -2 ウイルスへの細菌の感受性確認 ウイルス感受率 (PFU/ml) × 乗数対数平均値	試験成立 の 判定
無加工品 (0)	無	2.54	○
オリビアV	無	0.57	○

【試験成立条件】  
1-1) 細菌増殖：無し  
2-2) ウイルスへの細菌の感受性確認：  
1) 検出されたウイルス感受率 (PFU/ml) - lg(10) 以下のウイルス感受率 (PFU/ml) ≤ 0.5  
以上

※ この報告書は、発注の試験に対する試験結果であり、ロット全体の品質を確認するものではありません。  
※ 本報告書の発注は一回の試験結果を前提とさせていただきます。

## ○抗菌性試験結果証明書 一般財団法人 カケンテストセンター調べ



【様式1110F36】 2020R000824\_211(3)

**試験結果報告書**

依頼者名 株式会社セゾンカー 様  
品名 オリビアV 1点  
試験項目 抗ウイルス性試験  
2020年11月4日 発注の試験に対する試験結果は、次の通りです。  
2020年11月19日  
一般財団法人 日本繊維品質技術センター  
調べる試験センター 印

調べる

○試験内容  
繊維製品の抗ウイルス性を調べる

○試験方法  
JIS S 1302 「繊維製品の抗ウイルス試験方法」

○試験結果  
・試験ウイルス：A型インフルエンザウイルス(H3N2)  
A/Hong Kong/808/TC adapted ATCC VR-1679  
・試験ウイルス懸濁液濃度：2.7×10<sup>7</sup> PFU/ml

試料	ウイルス感受率 (CFU/ml) × 乗数	減少率 [MG] (%)	抗ウイルス 濃度 [MG] (%)
無加工品 (0)	6.03	0.0	0.0
オリビアV	0.14	0.6	2.7

(注) 無加工品(対照) - 検体A (対) (0.999) : plaque forming units  
(注) 抗ウイルス活性値 [AG] = lg(15) - lg(15)  
(注) 減少率 [MG] = lg(15) - lg(15) (試験成立条件: 減少率 [MG] ≤ 1.0)

○抗菌試験結果  
・試験ウイルス：A型インフルエンザウイルス(H3N2)  
A/Hong Kong/808/TC adapted ATCC VR-1679  
・試験ウイルス懸濁液濃度：4.3×10<sup>7</sup> PFU/ml

検体	1) -1 細菌増殖 の有無	2) -2 ウイルスへの細菌の感受性確認 ウイルス感受率 (PFU/ml) × 乗数対数平均値	試験成立 の 判定
無加工品 (0)	無	2.54	○
オリビアV	無	0.57	○

【試験成立条件】  
1-1) 細菌増殖：無し  
2-2) ウイルスへの細菌の感受性確認：  
1) 検出されたウイルス感受率 (PFU/ml) - lg(10) 以下のウイルス感受率 (PFU/ml) ≤ 0.5  
以上

※ この報告書は、発注の試験に対する試験結果であり、ロット全体の品質を確認するものではありません。  
※ 本報告書の発注は一回の試験結果を前提とさせていただきます。

# 抗ウイルス剤配合 水洗用加工剤

## V-アクア

抗ウイルス加工

抗菌防臭加工

### 特長

- 抗ウイルス加工により、洗浄後の衣類に付着したウイルスの数を減少させます。
- 抗菌防臭加工により、衣類上の菌の増殖を抑制し、においの発生を防ぎます。
- 糊、ソフターなどと同時に使用できます。

### 使用方法

- 被洗物 1 k g あたり、V-アクアを 3m l 添加します。  
(使用例)  
①すすぎ工程後、水位を低水位にします。  
②被洗物重量 1 k g に対し、V-アクアを 3m l 添加します。  
(被洗物 20 k g の場合、20 k g × 3m l = 60m l 添加)  
③5分間ワッシャーを回転させ、脱水します。

### 性状

外観：無色透明液体  
成分：カチオン界面活性剤、グリコール系溶剤  
液性：中性  
比重：1.00

- 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- ウイルスの働きを抑制するものではありません。
- すべてのウイルスに効果があるわけではありません。

荷姿 18kg キュビテナー



本 社 / 〒731-3169 広島市安佐南区伴西3丁目5-1

TEL(082)848-9111 FAX(082)848-2218

東京支店 / 〒340-0003 埼玉県草加市稲荷6丁目17-8

TEL(048)931-6468 FAX(048)935-1830

HPアドレス <http://www.sevenrivers.co.jp>

抗ウイルス剤配合 ランドリー用柔軟剤

# V-ソフター

抗ウイルス加工

抗菌防臭加工

## 特長

- 抗ウイルス加工により、洗浄後の衣類に付着したウイルスの数を減少させます。
- 抗菌防臭加工により、衣類上の菌の増殖を抑制し、においの発生を防ぎます。
- 優れた風合い効果により、ソフトに仕上がります。

## 使用方法

- 被洗物1kgあたり、V-ソフターを5ml添加します。  
(使用例)  
①すすぎ工程後、水位を低水位にします。  
②被洗物重量1kgに対し、V-ソフターを5ml添加します。  
(被洗物20kgの場合、20kg×5ml=100ml添加)  
③5分間ワッシャーを回転させ、脱水します。

## 性状

外観：微黄色透明液体  
成分：界面活性剤（ノニオン、カチオン）、グリコール系溶剤  
液性：中性  
比重：1.00

- 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- ウイルスの働きを抑制するものではありません。
- すべてのウイルスに効果があるわけではありません。

荷姿 18kg キュビテナー



株式会社

セブンリバーズ

本社 / 〒731-3169 広島市安佐南区伴西3丁目5-1

TEL(082)848-9111 FAX(082)848-2218

東京支店 / 〒340-0003 埼玉県草加市稲荷6丁目17-8

TEL(048)931-6468 FAX(048)935-1830

HPアドレス <http://www.sevenrivers.co.jp>

# 抗ウイルス性試験証明書

## ○抗ウイルス性試験結果証明書 一般財団法人 ニッセンケン品質評価センター調べ

**試験鑑定証明書** DLH21-BC 00271 -1

依頼者 株式会社セブンリバー 殿 2021年8月30日

品番(品名) 下記参照 一般財団法人

数量 1 点 ニッセンケン品質評価センター

バイオケミカル事業部 検査センター

2021年7月5日に提出された試料について試験の結果、下記の通りであることを証明します。

○ 試験試料 (1) V-アーク

I. 試験項目 抗ウイルス性試験

II. 試験方法 JIS L 1922:2016 繊維製品の抗ウイルス性試験方法

III. 測定方法 プラーク測定法

IV. 試験ウイルス 1. Influenza A virus: A/Hong Kong/8/68 (H3N2) ATCC VR-1679

V. 規格からの逸脱事項 なし

VI. 試験結果

【試験ウイルス液】

ウイルス	1
感染価 (PFU/mL)	$3.20 \times 10^7$

【対照試験(予備試験)】

ウイルス	区分	細胞毒性試験		細胞のウイルスへの感受性確認試験	
		希釈倍率	感染価対数値	対照試料との対数値差	
1	標準綿布	$10^3$	2.659		
	(1) 原布	無	2.553	0.1	

【本試験】

<対照試料>

ウイルス	区分	感染価対数値	減少値 M Log(Va)-Log(Vb)
1	標準綿布	接種直後 Log(Va) 6.767	0.6
		2hr反応後 Log(Vb) 6.174	

<試験試料>

ウイルス	区分	感染価対数値	抗ウイルス活性値 (M)	
			Log(Vb)-Log(Vc)	Log(Va)-Log(Vc)
1	(1) 原布	2hr反応後 Log(Vc) 4.266	1.9	2.5

\* 減少値M(1.0)かつLog(Va)がLog(Vb)を超えるため、Log(Vb)をLog(Va)に置き換えた活性値を付記する。  
○ DLH21-BC00203(2021.8.17発行)より試験試料(5)のデータを転記。

試 料

**NQEC NQEC NC**

この証明書に記載の試験結果は供試試料に対するものであり、荷口(ロット)全体の品質を証明するものではありません。

試証-1 無断複写転用はお断り致します。 担当者 